

## 2021年度 個人研究実績・成果報告書

2022年 4月 25日

所属	商経学部	職名	准教授	氏名	三田村 智
研究課題	中小企業の資金調達問題と協同組織金融機関（日独比較研究）				
研究キーワード	中小企業金融、企業金融	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	8.働きがいも経済成長も	9.産業と技術革新の基盤をつくろう	該当なし	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>中小企業の資金調達問題、特に協働組織金融機関による地域金融のあり方が、コロナ禍においてあらためて問われている。また、低金利の中で、金融機関が預貸業務を通じて収益を得る余地が限られており、伝統的な銀行による間接金融のビジネスモデルが岐路に立たされている。</p> <p>伝統的な協同組織金融機関などの地域金融機関が、現在の中小企業金融の諸問題にどれだけ有効に機能しているのかという問題意識に対して、さまざまな文献やデータを収集・整理することができた。引き続き同じ分析視角で研究を継続してまいりたい。</p> <p>2021年度も、コロナ禍のため、主宰している「CUC 中小企業マネジメントスクール」が実施直前になって全て中止となってしまった。また、遠隔地での中小企業経営者に対するヒヤリング調査も中止・延期を余儀なくされた。次年度は、こうしたヒヤリング調査も積極的に再開したい。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】 特になし。</p> <p>【著書・論文（査読なし）】 特になし。</p> <p>【学会発表等】 特になし。</p> <p>3. 主な経費</p> <p>参考文献の購入、PCソフトのサブスクリプション費用、機器備品の購入、関連学会の年会費支払、消耗品購入などに、個人研究費を有効活用することができた。</p> <p>当初予定していたPC購入費については、次年度に繰り越し、次年度研究費とともに購入することとした。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>特になし。</p>					
（本文は <u>2ページ以内</u> にまとめること）					